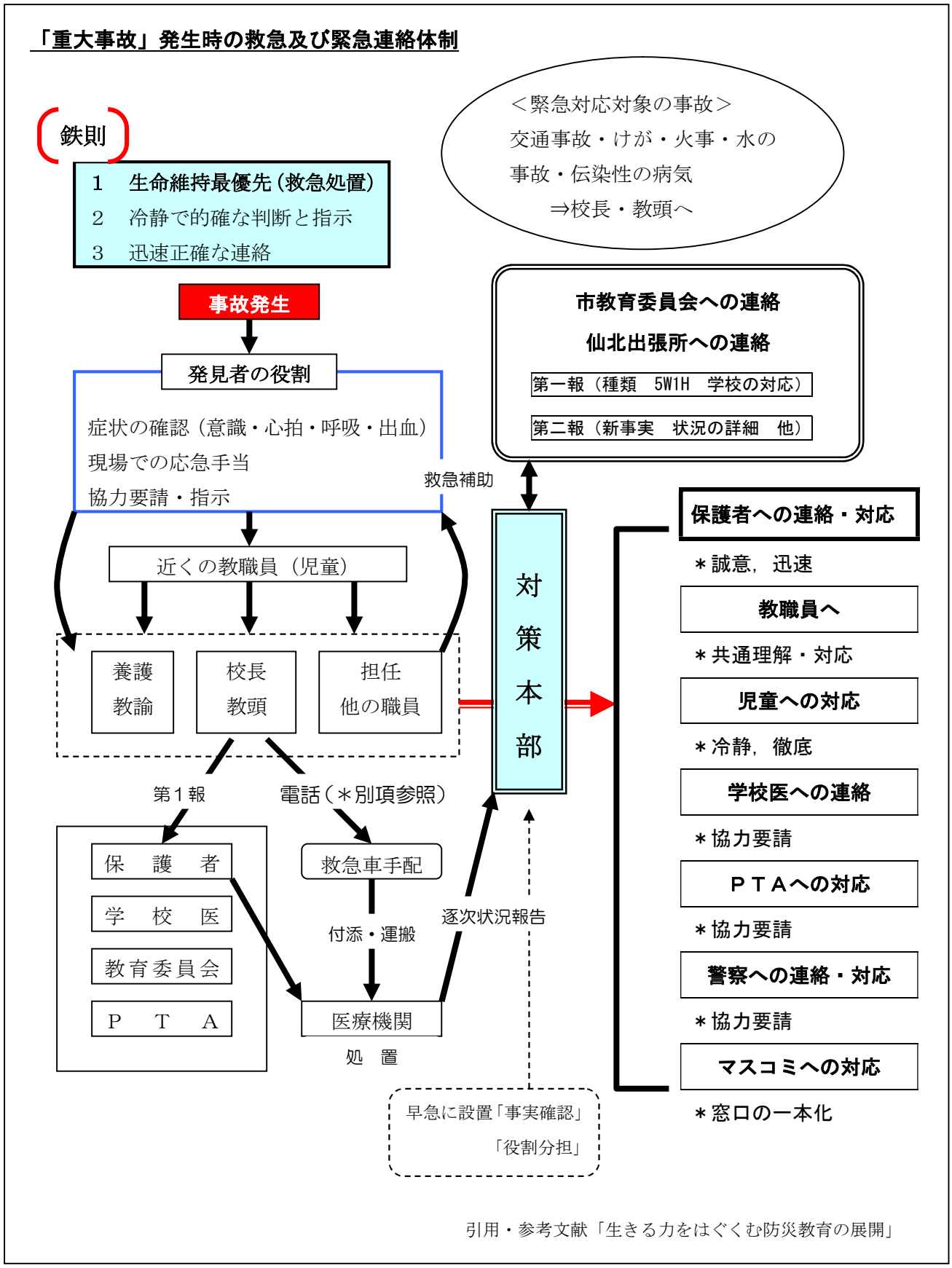
3　救急対応計画


「重大事故」発生時の救急及び緊急連絡体制
鉄則
1　生命維持最優先（救急処置）
2　冷静で的確な判断と指示
3　迅速正確な連絡
＜緊急対応対象の事故＞
交通事故・けが・火事・水の事故・伝染性の病気
⇒校長・教頭へ
事故発生
発見者の役割
症状の確認（意識・心拍・呼吸・出血）
現場での応急手当
協力要請・指示
救急補助
市教育委員会への連絡
仙北出張所への連絡
第一報（種類　5W1H　学校の対応）
第二報（新事実　状況の詳細　他）
近くの教職員（児童）
養護教諭
校長教頭
担任他の職員
対策本部
第１報
電話（＊別項参照）
保　護　者
学　校　医
教育委員会
Ｐ　Ｔ　Ａ
救急車手配
付添・運搬
医療機関
処　置
逐次状況報告
早急に設置「事実確認」
「役割分担」
保護者への連絡・対応
＊誠意，迅速
教職員へ
＊共通理解・対応
児童への対応
＊冷静，徹底
学校医への連絡
＊協力要請
ＰＴＡへの対応
＊協力要請
警察への連絡・対応
＊協力要請
マスコミへの対応
＊窓口の一本化
引用・参考文献「生きる力をはぐくむ防災教育の展開」